

CL Editor 主なアップデート内容

V5.1.2(Mac)

V5.1.2 で修正した不具合

- 一部の PREMIUM RACK のパラメーター値がコンソールと CL/QL Editor で一致しない不具合を修正しました。

V5.1.1 の新機能

- macOS 10.15 に対応しました。

V5.1.1 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.1.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.10 に対応しました。
- macOS 10.14 に対応しました。

V5.1.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.0.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.00 に対応しました。

- 画面の表示サイズを切り替えるズーム機能を追加しました。

V5.0.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V5.1.1(Win)

V5.1.1 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.1.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.10 に対応しました。

V5.1.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.0.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.00 に対応しました。
- 画面の表示サイズを切り替えるズーム機能を追加しました。

V5.0.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V5.1.1(Mac)

V5.1.1 の新機能

- macOS 10.15 に対応しました。

V5.1.1 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.1.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.10 に対応しました。
- macOS 10.14 に対応しました。

V5.1.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.0.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.00 に対応しました。
- 画面の表示サイズを切り替えるズーム機能を追加しました。

V5.0.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V5.1.0(Win)

V5.1.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.10 に対応しました。

V5.1.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.0.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.00 に対応しました。

- 画面の表示サイズを切り替えるズーム機能を追加しました。

V5.0.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V5.1.0(Mac)

V5.1.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.10 に対応しました。
- macOS 10.14 に対応しました。

V5.1.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.0.0 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.00 に対応しました。
- 画面の表示サイズを切り替えるズーム機能を追加しました。

V5.0.0 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V5.0.0

V5.00 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.00 に対応しました。
- 画面の表示サイズを切り替えるズーム機能を追加しました。

V5.00 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V4.5.0

新機能

- CL/QL ファームウェア V4.50 に対応しました。

詳細は CL/QL V4.5 追補マニュアルをご参照ください。

V4.5.0 で修正した不具合

- With Recall がオフになっている I/O デバイスがあるときに、Editor と本体を Sync しても、HA パラメーターが同期しない不具合を修正しました。

V4.1.0

新機能

- CL ファームウェア V4.10 に対応しました。
- CSV ファイル書き出しのオプションが追加されました。
- CSV ファイルの読み込みで、認識できる表記が増えました。

詳しくは [CL V4.1 追補マニュアル](#)をご覧ください。

V4.0.1

修正した不具合

- QL V1.0x、CL V1.70/V2.0x で作成された Scene データが、Out of Range の表示が出てロードできない不具合を修正しました。

V4.0.0(Win)

新機能

- CL ファームウェア V4.00 に対応しました。

- チャンネル名(およびカラー、アイコン)、インプットパッチ、アウトプットパッチ、その他のパッチのデータを CSV ファイルとして読み込み/書き出しできるようになりました。

V4.0.0(Mac)

新機能

- CL ファームウェア V4.00 に対応しました。
- チャンネル名(およびカラー、アイコン)、インプットパッチ、アウトプットパッチ、その他のパッチのデータを CSV ファイルとして読み込み/書き出しできるようになりました。

V3.1.0(Win)

新機能

- CL ファームウェア V3.10 に対応しました。

改善点

- Port to Port 機能で外部の QL をパッチした CL に CL Editor を接続した場合、該当チャンネルに外部 QL のポートが正しくパッチされていないときは、コンソールと同様に CL Editor でも A.GAIN ノブが非表示になるようになりました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

3.1.0(Mac)

新機能

- CL ファームウェア V3.10 に対応しました。

- Mac OS X 10.11 に対応しました。

改善点

- Port to Port 機能で外部の QL をパッチした CL に CL Editor を接続した場合、該当チャンネルに外部 QL のポートが正しくパッチされていないときは、コンソールと同様に CL Editor でも A.GAIN ノブが非表示になるようになりました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

V3.0.0(Win)

新機能

- CL ファームウェア V3.00 に対応しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V3.00(Mac)

新機能

- CL ファームウェア V3.00 に対応しました。

修正した不具合

- アンインストーラーが Gatekeeper に対応していなかった不具合を修正しました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

V2.04

新機能

- CL ファームウェア V2.04 に対応しました。

V2.00

新機能

- CL ファームウェア V2.03 に対応しました。
- Overview ウィンドウ上のマウス操作で CH COPY(チャンネルコピー)と CH MOVE(チャンネルムーブ)ができるようになりました。
- OUTPUT PATCH ページと DIRECT OUTPUT PATCH ページに CLEAR ALL を追加しました。
- ウィンドウの開き方を一部変更しました。

V1.70

新機能

- CL ファームウェア V1.70 に対応しました。

- Library ウィンドウで、All タイプの Console File から現在開いているタブに応じたデータを取り出せるようになりました。

NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのファイルとして保存されます。SAVE で上書き保存すると All タイプの Console File がライブラリーデータのみの Console File として保存されますので、SAVE AS で別名保存する事をおすすめします。

既知の不具合

- Rack Module Editor で PREMIUM ラックを開いているとき、マウントされていないラックを選択してキーボードで入力をするとき、CL Editor が強制終了してしまうことがあります。マウントされていないラックを選択しているときは、キーボードで入力をしないでください。

V1.5.1

修正した不具合

- V1.1.4 以前の CL Editor で保存したシーンライブラリーのファイルが正しく読み込めない不具合を修正しました。

V1.5.0

新機能

- CL ファームウェア V1.5 に対応しました。
- Meter ウィンドウに Monitor Level および Cue Level の値が表示されるようになりました。

修正した不具合

- De-esser の Type が HPF の場合に Q が表示される不具合を修正しました。

V1.1.4

新機能

- CL ファームウェア V1.14 に対応しました。

V1.1.0-2(Mac)

新機能

- Mac OS X 10.8 に対応しました。

修正した不具合

- Mac OSX 10.8(Mountain Lion)でアンインストーラが起動できない不具合を修正しました。

V1.1.0

新機能

- Scene ウィンドウに FOCUS RECALL ページを新設し、現在選ばれているシーンで特定のチャンネルやパラメーターをリコールするフォーカスリコールの機能を追加しました。
- Scene ウィンドウの SCENE MEMORY ページから、各シーンのフォーカスリコール機能を設定できるようになりました。
- Dante 設定の同期方法を選択できるようになりました。
- Overview ウィンドウと Custom Fader Bank ウィンドウ上で、チャンネルカラーが変更できるようになりました。

修正した不具合

- Rack Module Editor で、PREMIUM ラックの Dynamic EQ を表示するとまれに CL Editor が強制終了することがある不具合を修正しました。
- Custom Fader Bank Setup ウィンドウで、Ext.User 時に変更した情報が CL 本体と一致しない不具合を修正しました。
- Outport Setup ウィンドウの RECORDER タブで、レベルメーターが正しく表示されない不具合を修正しました。
- Outport Setup ウィンドウで、MONITOR や CUE を任意の出カポートに割り当てたときに DELAY 設定が連動しない不具合を修正しました。
- ONLINE の状態で Dante 設定が初期値以外のファイルを読み込んだときに、CL 本体と同期していなくても Dante 設定を送ってしまう不具合を修正しました。
- CL 本体と接続しているときに、ワードクロックを変更すると PREMIUM ラックの BYPASS がオフになることがある不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.0.0

リリースバージョン